

第23回 ネイチャーゲーム全国研究大会 IN 東京 2013 活動報告書



開催中!
2013年
6月7日(金)
～9日(日)

**第23回
全国ネイチャーゲーム研究大会
IN 東京 2013**

TOKYO 温故知新
~出会い 語ろう お江戸の魅力~

基調講演 (江戸の盛り立てと人材育成)
久染 健夫氏

【お申込み】先着順
参加費前夜30,000円（宿泊費・食費・プログラム費等）
定員120名（先着順）
申込：定員に達した時点で申し込み締め切りとなります。
主催：公益法人日本シェアリングネイチャー協会、東京圏シェアリングネイチャー協会、日本シェアリングネイチャー協会、公益財団法人文化財団、公益財団法人文化財団

スケジュール

6月7日	6月8日	6月9日
14:00 受付開始	8:00 ワークショップ (予定)	14:00 受付開始
15:30 開会式	9:00 ワークショップ発表会	15:30 開会式
16:00 懇談会	10:00 昼食	16:00 懇談会
17:30 ワークショップ説明	11:00 ワークショップ発表会	17:30 ワークショップ説明
18:00 夕食	12:00 閉会	18:00 夕食
19:00 夕食		19:00 夕食
21:00 ワークショップ発表会		21:00 ワークショップ発表会
22:00 閉会		22:00 閉会

アクセス

会場：国立オリンピック記念青少年総合センター
〒151-0052 東京都練馬区村山4-1-1
TEL: 03-3541-1111
http://www.nogakigames.jp/

東京都シェアリングネイチャー協会

目次

大会運営委員長から	3
研究大会の準備・運営.....	4
プログラムの概要.....	10
大会1日目 6月7日(金)	11
大会2日目 6月8日(土)	14
大会3日目 6月9日(日)	23
大会の総括.....	24

大会運営委員長から

今年度は、今までの会場となった場所の自然環境には遠く及ばない東京都心のど真ん中、国立オリンピック記念青少年総合センターを会場に開催されました。そんな東京で全国からの皆さんをお迎えするテーマは、TOKYO 温故知新～出会い 語ろう お江戸の魅力～となりました。今までとは視点を変えて、遠く江戸時代からの大都会であったこの土地の歴史や伝統、文化、そこに暮らす人々と自然との関わりなどを知っていただこうと、8つのワークショップを準備しました。その移動には、交通の便の良さを活かして、初めて公共交通機関を使いました。

落語を彷彿とさせる軽妙な語り口で江戸を語る久染健夫氏の基調講演も好評でした。私達も準備を進める中で、新しい発見も多くあり、改めて自分たちの住む地域や文化を見つめ直すことができました。

公益社団法人化の記念パーティーも行われるなど、初めてづくしの大会でしたが、皆さんの笑顔とご協力に支えられて、無事に終えることができました。

穂山徹也



研究大会の準備・運営

大会コンセプト・テーマの設定

2012年5月14日 都協会理事会 議事録より

東京の魅力とは？ 東京の自然再発見 シェアリングネイチャーを東京で
単なる観光ではないもの、普段行かない所 東京今昔 人の生業 自然との共生 運河
博物館のバックヤード見学 深川木工 皇居東御苑 明治神宮 田植え 蚕絹産業
下町の家並み 酒蔵 高尾山 . . .
協議の結果、仮テーマを、「TOKYO 温故知新 ～教えてあげたい江戸の魅力～」とした。

2013年1月6日 実行委員会役員会 議事録より

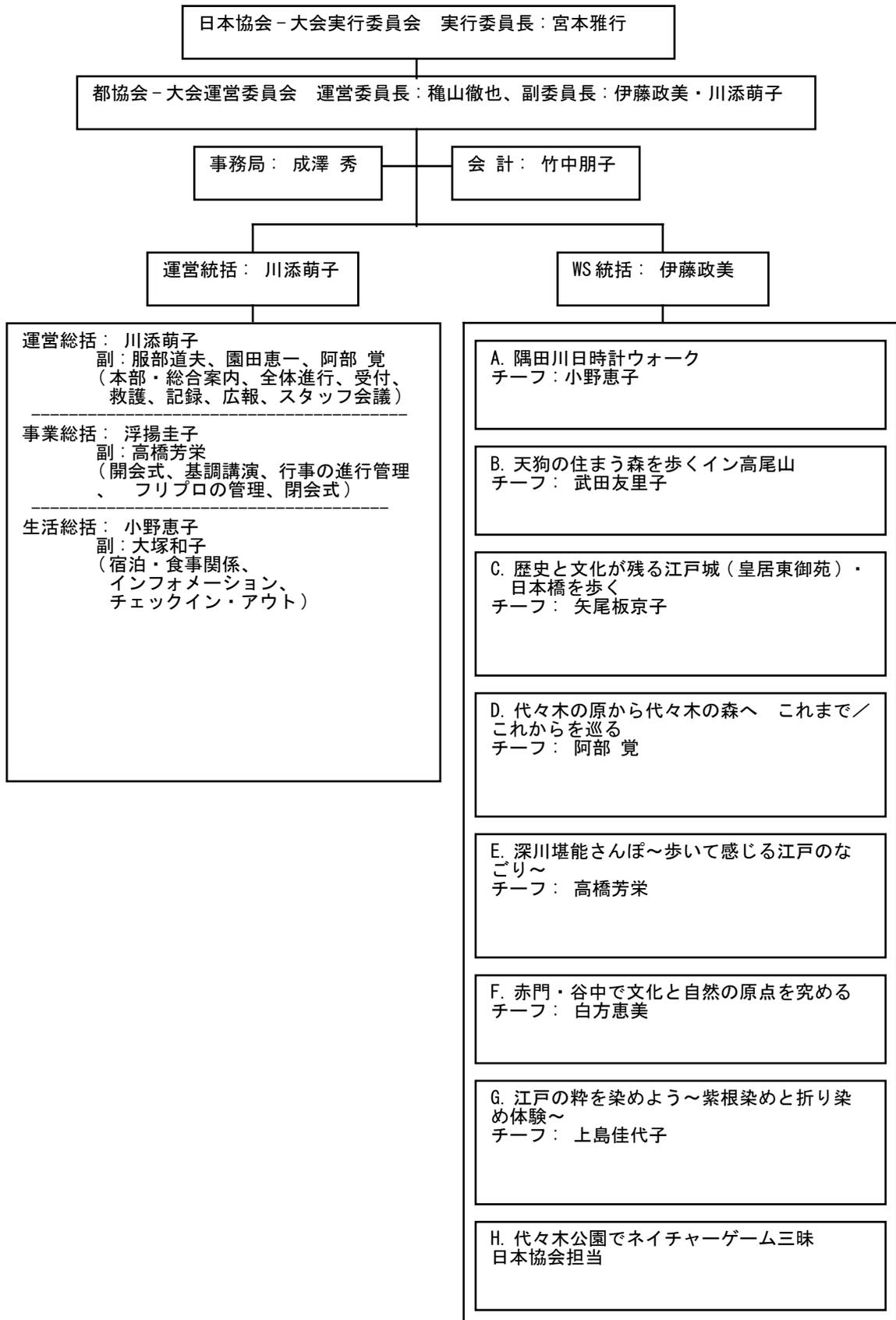
サブタイトルを次の3案として1月19日の実行委員会に提示して決定することになった。

- (1) あなたと探る 江戸の魅力
- (2) あなたと訪ねる 江戸の息づかい
- (3) 出会い 語ろう お江戸の魅力

2013年1月19日 実行委員会 議事録より

大会テーマについて、サブタイトルを3つの案につき挙手を求めた結果、「出会い 語ろう お江戸の魅力」に決定した。

研究大会組織図



スタッフ

5. 都協会のスタッフ名簿・役割 日程: 平成25年6月7日(金)から9日(日)

	氏名	参加について			宿泊			担当	
		6月7日	6月8日	6月9日	7日	8日	宿泊無		
運営委員	種山 徹也	本部	本部	本部	○	○		大会運営委員長	1
	成澤 秀	本部	本部	本部			×	事務局長	2
	指田 光一	事業	事業	事業	○	○		事務局	3
	竹中 朋子	本部	WSG	本部	○	○		会計・WSG ※6/7の時間未定	4
	大塚和子	生活	生活	生活			×	会計・生活総括副チーフ	5
	川添 萌子	本部	本部	本部	○	○		運営統括・運営総括チーフ	6
	服部 道夫	運営	運営	運営	○	○		運営総括副チーフ	7
	園田恵一	運営	運営	運営	○	○		運営総括副チーフ	8
	阿部 寛	運営	WSD	運営	○	○		運営総括副チーフ・WSDチーフ	9
	浮揚圭子	事業	事業	事業	○	○		事業総括チーフ	10
	高橋 芳栄	事業	WSE	事業	○	○		事業総括副チーフ・WSEチーフ	11
	小野恵子	生活	WSA	生活	○	○		生活総括チーフ・WSAチーフ	12
	伊藤 政美	本部	WS統括	本部	○	○		WS統括	13
	武田 友里子	夜から	WSB	生活	○	○		WSBチーフ・生活※6/7はレセプションから参加	14
	矢尾板 京子	事業	WSC	事業	○	○		WSCチーフ・事業	15
	増淵 与志子	事業	WSC	事業	○	○		WSC・事業	16
	白方恵美	生活	WSF	-			×	WSFチーフ・生活	17
	上島 佳代子	-	WSG	生活		○		WSGチーフ・生活	18
	外山 史也	-	WSB	生活			×	WSB・生活	19
渋谷 悠里	-	-	-	-	-	-			
小計	本部	5	3	5	14	15			19
	運営	3	2	3					
	事業	5	2	5					
	生活	3	1	5					
運営スタッフ									
江戸の郷	岩増 幸子	運営	WSD	運営	○	○		運営・WSD	1
	福井 清天	-	WSD	-			×	WSD	2
	阿部 佳代子	運営	WSD	運営			×	運営・WSD	3
	柳河 加奈子	運営	WSC	運営	○	○		運営・WSC	4
王子	上原謙一	生活	WSF	生活	○	○		生活・WSF	5
	大竹幸子	夜から	WSF	-			×	WSF ※6/7はレセプションから参加	6
	中嶋信輔	-	WSF	生活			×	生活・WSF	7
	松永哲也	生活	WSF	生活	○	○		生活・WSF	8
こうとう	清水健司	事業	WSF	事業	○	○		事業・WSF ※総会出席予定	9
	酒井紀章	事業	WSE	事業			×	事業・WSE	10
	鹿野 順子	事業	WSE	事業	○	○		事業・WSE	11
	工藤 真義	-	WSE	-			×	WSE	12
すぎなみ	大野由美	生活	WSA	-			×	生活・WSA	13
	岩淵晴子	生活	WSA	生活	○	○		生活・WSA	14
まちだ	植竹尚美	-	WSB	-			×	WSB	15
	田中 雅彦	-	WSG	-			×	WSG	16
むさしの	松田 則子	-	WSG	-			×	WSG	17
	早松 菊代	運営	本部	運営	○	○		運営	18
	佐藤 恵一	運営	WSG	運営	○	○		運営・WSG	19
	桂木 奈巳	-	WSG	-			×	WSG	20
	荒木 智子	-	WSG	-			×	WSG	21
	鈴木誠	-	WSG	-			×	WSG	22
	浅沼 隆行	-	WSG	-			×	WSG	23
八王子	山本 美幸	-	WSB	生活		○		生活・WSB	24
	大北 直美	-	WSB	-			×	WSB	25
立川	飯野美砂子	夜から	生活	生活	○	○		生活	26
	堀田 美穂	-	-	生活			×	生活	27
	山本 啓子	生活	生活	生活	○	○		生活	28
	岸 真千子	生活	生活	生活	○	○		生活	29
一般	国木田 之彦	運営	WSE	運営	○	○		運営・WSE	30
	大谷 文子	事業	WSB	事業	○	○		事業・WSB	31
	益子千秋	事業	WSB	事業	○	○		事業・WSB	32
	矢古宇 恭子	-	WSB	-			×	WSB	33
	秋山由紀	-	WSD	運営			×	運営・WSD	34
	鈴木 正昭	運営	WSA	運営			×	運営・WSA	35
	小野木 一江	運営	WSC	-	○			運営・WSC	36
小計	本部	0	1	0	17	17			37
	運営	9	0	9					
	事業	5	0	5					
	生活	6	3	9					

宿泊合計

31 32

スタッフ合計 56

関係団体

今回大会では行政機関等の諸団体への後援／協賛を申し入れは行わなかった。
ただし基調講演に関して「スポーツ祭東京 2013 文化プログラム」への登録を行った。

参加者

一般参加者	日本協会スタッフ	都協会スタッフ	合 計
101	9	56	168

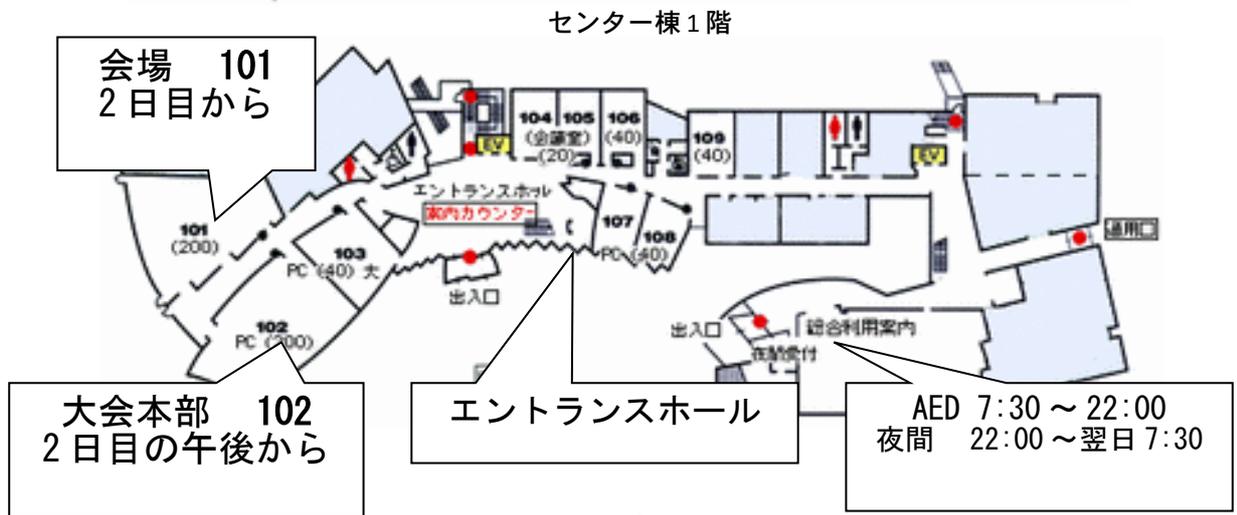
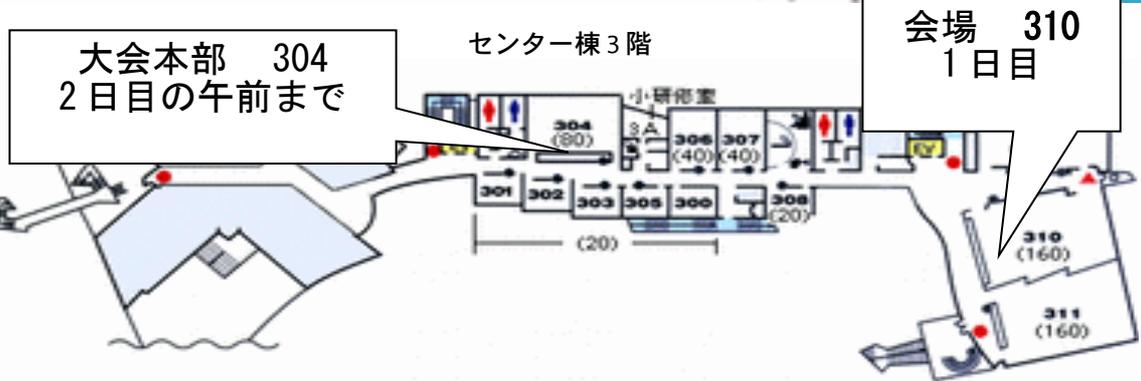
※スタッフ数には基調講演やワークショップでの外部講師の方々を含みません。

施設の概要

主会場となった国立オリンピック記念青少年総合センターの施設配置および使用会場は以下のとおり。

◆施設配置図

1. 施設案内-センター棟ほか使用会場



施設案内 2-宿泊棟



宿泊 B 棟 2、3 階

B-305~308、310、311	東京都スタッフ(女子)
B-309、312~324	参加者(女子)
B-206~208	東京都スタッフ(男子)
B-209~222	参加者(男子)

宿泊 A 棟 2 階

A-200~212	参加者(男子)
	日本協会(男子)
A-240~243	参加者(女子)
	日本協会(女子)

プログラムの概要

◆プログラムと動き

全体スケジュール

(本)=日本協会、(都)=都協会、WS=ワークショップ

	1日目(6/7)	2日目(6/8)	3日目(6/9)							
早朝		6:00 フリープログラム (野外・自主)	6:00 フリープログラム (野外・自主)							
		7:00～朝食	7:00～朝食							
午前	8:30 大会本部・総合案内の設 営(304) 9:00 スタッフ会議(304) <受付・基調講演会場設営> ---案内表示 ---受付設営(310 廊下) ---基調講演設営(310) ---総会会場(405)	8:00～WS 集合・出発 (WS 個別に時間設定) 8:30 大会本部・総合案内 (304) (午前中に102へ移動)	8:30 大会本部・総合案内 (102) (午前中に102を撤去) 9:00 集合写真撮影(101) 9:15 (都)WS 報告会(101)							
		<table border="1"> <tr> <td>WSA 隅田川日時計 (すぎなみ)</td> <td>WSB 天狗の高尾山 (八王子 まちだ)</td> </tr> <tr> <td>WSC 江戸城・日本 橋(江戸の郷)</td> <td>WSD 代々木の森 (江戸の郷)</td> </tr> <tr> <td>WSE 深川堪能さん ぼ(こうとう)</td> <td>WSF 赤門・谷中 (王子)</td> </tr> <tr> <td>WSG 江戸の粋を染 める (むさしの)</td> <td>WSH 代々木公園で NG (日本協会)</td> </tr> </table>	WSA 隅田川日時計 (すぎなみ)	WSB 天狗の高尾山 (八王子 まちだ)	WSC 江戸城・日本 橋(江戸の郷)	WSD 代々木の森 (江戸の郷)	WSE 深川堪能さん ぼ(こうとう)	WSF 赤門・谷中 (王子)	WSG 江戸の粋を染 める (むさしの)	WSH 代々木公園で NG (日本協会)
WSA 隅田川日時計 (すぎなみ)	WSB 天狗の高尾山 (八王子 まちだ)									
WSC 江戸城・日本 橋(江戸の郷)	WSD 代々木の森 (江戸の郷)									
WSE 深川堪能さん ぼ(こうとう)	WSF 赤門・谷中 (王子)									
WSG 江戸の粋を染 める (むさしの)	WSH 代々木公園で NG (日本協会)									
	11:30～スタッフ昼食 食堂(カフェテリアふじ)	11:30～スタッフ昼食 参加者は各WSごと	12:00～スタッフ昼食							
午後	13:00～15:00 (本)総会(405) 14:00 受付開始(310) 15:30 開会式(310) 16:00 (都)基調講演(310) 17:30 宿泊関係説明 18:00 WS 説明 参加者チェックイン	～WS 実施～ <研究集会(101)会場設営> 17:00 WS オリセン到着	13:00～15:00 後片付け							
	19:30 (本)法人化記念パーティ (国際交流棟レセプション ホール) 21:00 終了、入浴等 フリープログラム(野外のみ) 21: ～スタッフ会議(304)	17:00～19:00 夕食・休憩 19:00 (本)研究集会(101) 21:00 終了、入浴等 フリープログラム(野外のみ) 21: ～スタッフ会議(102)								
夜										

大会1日目 6月7日(金)

(開会まえ)



開会式



基調講演

江戸の成り立ちと人々の暮らし

講師：久染 健夫氏（江東区中川番所資料館次長）

「学生時代から文化財の仕事に携わり、地域の歴史や文化を大切にしながら、皆様楽しんで戴くことをライフワークにしております。開発などで見えにくくなっていく東京の歴史を垣間見てください！」

江東区深川は下町情緒あふれる地域であり、江戸時代にタイムスリップしたような面影の残る町でもあります。NHK「プラタモリ」などテレビにも多数出演されている講師に、昭和初期の建築物が残る町並みなど、下町の魅力を存分に語っていただきます。



宿泊関係説明／WS 説明



レセプション 法人化記念パーティ



大会2日目 6月8日(土)

ワークショップA

A. 隅田川日時計ウォーク			
内容	日時計は、太陽の光や影の方向、長さ、高さを利用して時刻（時間・季節）を知る道具で、最も古い科学装置の一つです。南千住から浅草まで、点在する日時計や時計のミュージアムを見学しながらスカイツリーの見える隅田川に沿って歩きます。		
活動	点在する日時計とセイコーミュージアムの見学をした後、向島百花園にて、世界の日時計、江戸時代の日時計のお話と日時計作りのワークショップを行います。日時計作りのワークショップを取り入れた地域の会の定例会のようすも紹介します。		
体力度	★★7~8キロ歩く	交通費・昼食代など	1,800円



ワークショップ B

B. 天狗の住まう森を歩く in 高尾山			
内容	高尾山は都心に近く交通の便がよく、生きものの種類に富み、富士山をはじめ関八州が望めます。江戸時代末に外国人が登ることを初めて許された山でもあり、かつてコーネル氏が初めて来日した際に、空港から直行したのが高尾山でした。		
活動	行きはケーブルカーまたはリフトを利用し、高尾山1号路を登り、「フォトラリー」をしながら途中の薬王院に寄り、高尾山の魅力を発見していきます。頂上で昼食を取った後は自然散策しながら下山します。		
体力度	★★★登山	交通費・昼食代 など	1,750円(交通費・食事代)



ワークショップC

C.歴史と文化が残る「江戸城(皇居東御苑)・日本橋」を歩く

内容	徳川幕府の江戸城が前身である都会のオアシス皇居東御苑や日本橋、代々木公園での歴史散策で江戸の時代へタイムスリップします。江戸の時代と現在の街並みを比較しながら、歴史や文化・多くの樹木・自然を味わってみましょう。		
活動	皇居東御苑で歴史と建造物・樹木の観察散策後、日本橋では熙代勝覧(きだいしょうらん)の江戸名所図会を観賞。今昔の比較を行います。その後、代々木公園では、楽しい(きっと楽しくなるでしょう)ネイチャーゲームが待っています。		
体力度	★★(ほとんど平坦地ですが、とにかく歩きます。歩きやすい靴でご参加を)	交通費・昼食代など	1,900円(交通費・食事代等)



ワークショップD

D. 代々木の原から代々木の森へ これまで/これからを巡る			
内容	<p>かつて幕府が「江戸」の範囲を決めた際、ぎりぎり内側となったその村は、大名・旗本の屋敷地でありました。 明治時代には荒地が広がる一方、のどかな田園風景も…。元々は森ではなかったこの地域が、どのような変遷を経て、現在の様な都心で有数の広大な緑を持つに至ったのか。今どんな風に見守られ、さらに将来どんな森として育てられようとしているかを、体感いただけたらと思います。</p>		
活動	<p>かつての「春の小川」から代々木公園・明治神宮などオリンピックセンターに隣接する2つの森を中心に、旧代々木村をアクティビティを交えながら散策します。明治神宮では、ここをフィールドに活動・発信を行うNPO法人響さんに案内頂きます。</p>		
体力度	★★平坦道を5～6km歩く	交通費・昼食代など	2,000円(入園料500円・食事代等約1,500円)



ワークショップE

E. 深川堪能さんぽ ～歩いて感じる江戸のなごり～			
内容	江東区は、水路が縦横に走り、東は荒川、西は隅田川、南は東京湾、という豊かな水辺と緑に囲まれていて、『水彩都市』というキャッチコピーがある区域です。 今回は江戸の薫りが漂う深川地区を中心に楽しんで頂きたいと思っています。		
活動	門前仲町のある深川地区を、江戸切り絵図を片手に往時を偲びながら歩きます。江戸時代から相撲や祭り、出開帳などで庶民に親しまれ信仰を集めた富岡八幡宮や成田山深川不動堂や、深川佐賀町の街並みを再現した資料館などを訪れます。 教材など:江戸切り絵図、観光イラストマップ、下町ぶらりマップ (門前仲町・清澄白河)		
体力度	★★街中を10 Km程歩く	交通費・昼食代など	2,000円程度 (交通費・食事・入館料)



ワークショップF

F.赤門・谷中で文化と自然の原点を究める			
内容	徳川幕府の開成所から東京大学へと変遷し共に発展した本郷地区。東京大学の赤門をはじめ、昭和初期に活躍した教育者や樋口一葉・宮澤賢治などの文人の足跡も垣間見られます。谷中への趣ある道中では神社仏閣が沢山あり、江戸から昭和を肌で感じることができます。非日常の空間でいにしえの人々の文化と自然観を分かちあいませんか？		
活動	東大探検では総合研究博物館の案内&講義を取り入れ、動植物の名前の由来を学びます。また、学食でのランチや東大グッズの買い物、ミドリムシの試食やネイチャーゲームも予定しています。谷根千（谷中・根津・千駄木）の下町の雰囲気もちょっとだけ味わって頂きます。		
体力度	★★1日かけて長距離をゆったり歩く、動きやすい靴でご参加	交通費・昼食代など	1,000円程度



ワークショップG

G.江戸の粋を染めよう～紫根染めと折り染め体験			
内容	平安時代の都人にとって、武蔵野は紫草の畑が一面に広がるあこがれの地だったようです。江戸初期まで武蔵野で多く栽培されていたという紫草の染料で江戸の粋を象徴する色「江戸紫」に手ぬぐいを染めてみましょう。		
活動	都立野川公園にて、ネイチャーゲームと染色体験、そして手ぬぐいを使った楽しい活動も予定しています。		
体力度	★野川公園までバス電車を乗り継いで、1時間45分ほどかかります	交通費・昼食代など	2,000円程度（交通費・食事代）



ワークショップH

H.代々木公園でネイチャーゲーム三昧			
内容	季節やフィールドに合わせたネイチャーゲームをとことん楽しめます。		
活動	ネイチャーゲーム研究大会なのだからシンプルにネイチャーゲームをとことん楽しむワークショップを企画しました。全国から集まった仲間たちとゆったりほっこり大笑いしながらネイチャーゲームを楽しみましょう。		
体力度	★移動はほとんどない	交通費・昼食代 など	1,000円程度（食事代）



研究集会



幼児教育と木育

岐阜県、中津川市との連携

恵那山ネイチャーゲームの会
原 令子

木育5つの力

岐阜県の森林率82%(全国第2位)
中津川市の森林率80%(全国第5位)

1. 木と樹のつながりを感じる力が育ちます
2. モノを大切にできる心が育ちます
3. 工夫する力が育ちます

私たちの挑戦！

平成25年6月8日(土)
岐阜県シェアリングネイチャー協会
みらねもりもりシェアリングネイチャーの会
運営委員長 吉本 洋

社会福祉法人 恵那会 全県図

老人総合福祉施設 グリーンヒルズ
障がい者福祉センター 恵那50
ショートステイ 恵那20
恵那市立高齢者福祉センター

山形県内ネイチャーゲームの会

行政機関等との連携によるネイチャーゲームの普及推進活動について

山形県シェアリングネイチャー協会
事務局長 加藤 純

- 山形県内ネイチャーゲームの会について
 - 会員27名
 - 活動範囲 庄内地方2市3町全域 (鶴岡市、酒田市、遊佐町、庄内町、五川町)
 - 毎月第一水曜日に例会を開催し、事業や活動実績等への対応について協議。
 - 会の行事は、概同、通常それぞれの会員を中心に行わせ、企画・準備して実施。
 - 2012年度の活動内容
- 行政機関等との連携について
 - 地域の会独自イベントを活用してのPR
 - 行政機関主催のイベントへの積極的参加
 - やまがた森の感謝祭(山形県) 2008年、2012年参加
 - やまがた餅の自づ(活動)(山形県、鶴岡市) 2010年参加
 - 鶴岡市子どもまつり(鶴岡市) 2008年から毎年参加
 - 酒田市生涯学習祭り(酒田市) 2011年参加
 - 行政担当者等との連絡関係づくり
 - 鶴岡市農山漁村振興課、創造の森交流館
 - 酒田市教育委員会社会教育課、学促教育課
 - 山形県立金峰少年自然の家、待室少年自然の家
 - 山形県庄内教育事務所社会教育課
- 連携による効果について
 - 県、市町村主催の事業への参加により、ネイチャーゲームを知らない人達にもネイチャーゲームの楽しさを知ってもらう機会が増え、リーダー養成講座への参加等の呼びかけができる。

2008年	11回	参加者 574名	(内行政機関等からの依頼 7回)	参加者 229名
2009年	10回	参加者 464名	(内行政機関等からの依頼 5回)	参加者 111名
2010年	15回	参加者 807名	(内行政機関等からの依頼 11回)	参加者 417名
2011年	17回	参加者 850名	(内行政機関等からの依頼 13回)	参加者 412名
2012年	21回	参加者 934名	(内行政機関等からの依頼 18回)	参加者 694名

行政機関等 鶴岡市役所、酒田市教育委員会、酒田市農山漁村振興課、遊佐町しんがい自然館、庄内町民館、金峰少年自然の家、待室少年自然の家

大会3日目 6月9日(日)

WS 報告会



全体プログラム



閉会式



大会の総括

1) アンケート結果、評価

	大変満足	満足	普通	やや不満	不満
今大会の満足度	33	33	3	0	0
施設環境	17	30	22	3	0
スタッフの対応	47	20	5	1	0
基調講演	29	32	9	1	0
設立記念パーティー	12	31	23	3	0
ワークショップ					
A 隅田川日時計	7	0	0	0	0
B 天狗の高尾山	8	2	1	1	0
C 江戸城・日本橋	7	3	0	0	0
D 代々木の森	1	3	0	0	0
E 深川堪能さんぽ	8	2	0	0	0
F 赤門・谷中	5	1	0	0	0
G 江戸の粋を染める	9	0	0	0	0
H 代々木公園でNG	4	0	0	0	0
事例発表会	26	37	8	1	0
WS報告会	34	30	2	2	0
全体プログラム	17	18	17	5	3

アンケート回収数：72

2) ふりかえり

(運営委員反省会での発言より抄録)

(基調講演)パワーポイントとかを使わずにあれだけ話すのはさすが。いつもと雰囲気が違うので先生暴走したそう(笑)

(WSC)参加者も思いを持って参加-勉強になった。東京について自分自身も再認識。代々木公園でのゲームが行えず残念

(WSA)ある程度既定のコースだったので比較的楽だったがお天気との勝負、ちょっとでも日影が出てよかった
WS 発表会の際、参加者がノリノリでよかった

(WSF)大会テーマどうメンバーに伝えるか難しかった

(WSB)つながりができたことがよかった

(WSB)先生の話の流れにあわせネイチャーゲーム入れるのが難しかった
早め早めに動いたが、参加者はゆっくりがよかったみたい

(WSG)自分の企画、これでいいのかな、伝わらない孤独感があった
場所にこだわってやったのはよかった
ワークショップ報告会、経験者がいなくて参加者の主体性伝わらず残念

(本部)各の担当者、能力発揮
運営委員長、我慢強くああしろこうしろと言わずに水面下でトラブルを回避した
標語があったので、つらい時救われた

(本部)2年間目標に向けてやるのはなかなか大変なこと
運営は勉強になったし次に生かせる

(本部)やってよかったとどこかで思ってもらえたら
具体作業皆に任せた
難易度が高い大会だったが成功したのは皆のおかげ

マニュアルあってなきがごとし、結構大変
運営とWSのかけもち者、結構きつそうだった

参加者個別の事情について、日本協会から事前に情報が欲しかった

参加者が協力的でうまく行ってよかった(シーツ片づけなど)

天気が良くてよかった

WS 発表会で合意した写真枚数が守られず残念

参加したことがある人ありきではいけない
フリープログラムって何?どこ?
グッズ販売もわかりづらかった

事務局大変だったでしょうね

東京の人と地方の人の足のちがい配慮要

とっても楽しかった 余韻残して終わった
文句ブツブツ言ったが最後楽しく終わった

(大会トピック)

東京での開催

初期の日本協会主催による東京での大会、中止になった大阪大会を除き大都市での開催は例がなく、都道府県協会主催では初めてとなる。交通網の発達した東京での開催であったため会議／下見はいつでも電車で集まれるといった利点があり、逆に会期中のWSの移動手段も電車（ないし徒歩）に制限された。

交通費補助を試行

過去の研究大会では、参加スタッフはほぼ無償での運営を行ってきた場合が多いと聞くが、本大会では準備段階を含め携わったスタッフへのねぎらいを形にしたいという声が根強くあがった。何度も相談を重ねた結果、1日500円の交通費支給という形で実際の補助を行った。

運営スタッフの合言葉

ところを1つにあわせる合言葉をもとうという提案があり1月に下記の標語を決定した。

ようこそ東京へ！ わかちあう 喜び・笑顔・思いやり

スタッフそれぞれの思いが交錯衝突しがちなところ、緩和し運営をスムーズ化するのに、この合言葉が潤滑剤として果たした役割は大きかったと思われる。

